

令和7年度信州つばさプロジェクト中間報告

学びの改革支援課

1 事業の目的

長野県の高校生が、信州に根ざした確かなアイデンティティと、世界に通じる国際的視野をもち、将来世界の様々な分野で活躍できる人材として成長できるよう、社会全体で留学への気運を盛り上げる仕組みをつくり、県と民間、協働で高校生の海外留学を支援する。

2 県企画プログラム（R7年度は、4コースで合計100名を支援予定）

- ・県が短期海外研修を企画し、参加生徒経費のうち半額を、県が支援。
- ・奨学給付金受給世帯については、県内企業様からの寄付金により、全額支援。

コース・【留学先】	プログラム内容	参加者	日 程
SDGs 探究コースⅠ （国際理解）【韓国】	・在韓国大使館の方の講演 ・現地高校生との交流 ・ソウルの環境問題への取組を学習（アップサイクル施設視察）	30名	令和7年10月下旬 （5日間）
STEAM コース 【アメリカ】	・ニューヨークの国連本部視察 ・ボストンのマサチューセッツ工科大学やハーバード大学の講義聴講、大学生との交流 ・現地での英語による発表	20名	令和7年11月中旬 （8日間）
SDGs 探究コースⅡ （国際協力） 【ベトナム・カンボジア】	・戦争関連博物館見学 ・学校見学、現地生徒との交流 ・ベトナムの生徒とプロジェクト発表 ・バイヨン寺院修復現場見学	25名	令和8年2月上旬 （7日間）
グローバル インターンシップ コース 【台湾】	・高雄市政府教育局等への訪問 ・農業・工業・商業の3コースに分かれてのインターンシップ及び高級職業学校の生徒との交流	25名	令和8年3月中旬 （7日間）

3 個人留学支援（R7年度は、15名を支援予定）

- ・高校生自身が企画した留学に対して、基準額をふるさと信州寄付金により支援。
- ・留学先：ドイツ、フランス、イギリス、アイルランド、南アフリカ、カナダ、アメリカ、メキシコ、オーストラリア、フィジー

【留学の例】

留学先	研修テーマ	期 間
アメリカ	多様な思考や文化の違いを理解する10か月	315日間
メキシコ	語学留学ではなくボランティアとしての海外経験	14日間
南アフリカ	南アフリカで学ぶ国際支援の第一歩	10日間
フランス	ファッションの本場の都市で本物を学ぼう！	17日間

4 H30～R7の支援のべ人数

- ・県企画プログラム399名（留学先：台湾、カンボジア、マレーシア、アメリカ、韓国など）
- ・個人留学支援58名（留学先：メキシコ、フィリピン、アメリカ、マルタ、スイスなど）

5 参加生徒の様子

- ・現地高校生との交流を通して、自分の積極性がまだまだであることに気付いた。留学中に変わろうと思って、現地の方に積極的に話しかけるなど、主体性をもって行動することを増やせてよかった。（R7 SDGs 探究コースⅠ）
- ・最先端の医療研究の概要について知ることができた。また、私たちの発表に対しても鋭い質問をいただき、一流の研究者の批判的かつ建設的な思考を学ぶことができた。（R7 STEAM コース）

※H30の県企画プログラムに高校1年生で参加し、台湾で研修した生徒の感想

「現地高校生との交流で、相手の英語力に圧倒され、『自分と比べて、台湾の高校生はなぜこんなに英語が流暢なのか？』という問いが生まれて、英語教育に興味をもちました。」

→R7年度4月から、長野県の高校の英語教員として勤務



信州つばさプロジェクト

ー高校生海外留学支援事業ー

高校生の留学のための寄付にご協力ください!

寄付金の使途

○個人留学支援

留学に対して明確な目的と意志を持ち、留学先において日本や長野県の良さを発信する活動を行う生徒に対して費用の一部を支援します。

留学の内容については、生徒それぞれが自分にとって必要だと考えるものを、自ら企画します。これまでに支援した留学の例としては、オーストラリアでの語学研修を通して国際交流を図る取組、メキシコのJAPAN EXPOで忍者文化を紹介する取組、イギリスのチャリティショップでボランティアのあり方について学ぶ取組、マレーシアの学校でのボランティア活動を通して難民問題について考える取組などがあります。



寄付金の申込方法

個人/企業向け

税金が控除されます

寄付をしていただくと、一定額の税額控除を受けることができます。控除額や申請方法など、詳細は県直営『共創型』ふるさと納税受付サイト「ガチなが」でご確認ください。

ふるさと
信州
寄付金



10万円以上ご寄付いただいた皆様

養命酒製造株式会社 様
株式会社仙仁温泉岩の湯 様
みずすホールディングス株式会社 様
株式会社みずすコーポレーション 様
塚田裕一 様
長野県市町村女性教育委員連絡協議会
西條三香 様
春日功 様
※上記以外の方からもご寄付いただいています。



高校生等からのお礼

寄付いただいた企業へのお礼

- ・ 高校生への参加案内通知等に、協賛いただいている企業名を掲載して紹介させていただきます。
- ・ 高校生の報告会や発表会にご招待します。
- ・ 知事または教育長から感謝状を贈呈します。

長野県総務部税務課総務係（ふるさと信州寄付金事務局）←ふるさと納税についてはコチラ

☎ 026-235-7061

✉ furusato-kifu@pref.nagano.lg.jp

長野県教育委員会事務局学びの改革支援課高校教育指導係 ←留学についてはコチラ

☎ 026-235-7435

✉ kyogaku-koko@pref.nagano.lg.jp



学び応援キャラクター
信州なび助

○留学先：オーストラリア

最初はホストファミリーの方が言っていることを全く聞き取れず、質問の仕方もわからないので笑ってごまかしてしまいましたが、だんだん言っている内容を理解できるようになり、わからないことがあったときは自分で質問するなど、できることが増えました。私はこの経験を通して、失敗を恐れずチャレンジする度胸がつけました。困ったことがあっても周りの人を頼って、自分で解決する力もつけました。

このような留学体験を是非みんなにもしてほしいと考えており、今後はこの経験を探究の授業で伝えていきたいです。



【ホームステイ先の友人と】

○留学先：メキシコ

メキシコでのJAPAN EXPOへの参加を通して、生きる力が身に付いたと思います。海外で生きる力とは、自身の危機管理能力は大前提として、現地の方とどれだけコミュニケーションをとって情報を得られるかであると考えようになりました。しかし、同時にコミュニケーションは言語が全てではないと知りました。メキシコでは、私がスペイン語をうまく話せないことがわかると、易しいスペイン語に切り替えてくれたし、一緒に笑顔になれば自然と心を通わせられました。

今回、現地でも日本でも本当に様々な人のお世話になりました。全て皆様のご厚意の上に成り立っており、感謝してもしきれません。恩返しするためにも、私は今回の留学を多くの人と共有していくつもりです。



【忍者文化を紹介しました】

留学のメリット

留学は、これまで生きてきた「枠」の外のアウェイな世界へ一歩踏み出すことです。勇気を出してその世界に身を置き、葛藤し、悩みながらも困難を乗り越える経験を通して、多様性を受容する力や自己肯定感などを得られるほか、積極性やコミュニケーション力、ストレス耐性、レジリエンス（回復力）などを高めることができます。

これらの力を培った高校生は、これからの予測困難で正解を見つけにくい時代でも、他者と協働して、新たな社会の創造に取り組むことができます。

長野県の高校生海外留学率

平成29年度調査では1.17%（全国平均1.43% 全国22位）。令和9年度までに2.0%とすることを、長野県教育委員会は目標としています。プロジェクト参加生徒は、エヴァンジェリスト（伝道者）として留学機運醸成の一翼を担っています。

留学したくてもできない...

令和4年度国際交流状況調査では、留学を希望する長野県の高校生のうち、約7割が「経済的困難」を理由に高校在学中の留学を断念しています。

皆様からの支援を力に

このプロジェクトは、長野県の高校生の海外留学という夢を叶えるためのプロジェクトです。皆様からのご支援は留学費用として大切にさせていただきます。期待とともに不安もつきまとう留学ですが、たくさんの方からご支援いただいたと思うからこそ、その力を支えに様々な困難を乗り越えていけるはずです。

